

提出金名：日露青年交流委員会提出金

国際機関等名	日露青年交流委員会 (略称)					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	外務省欧州局ロシア支援室					
最近3年間の我が国支払額及び提出率、ODA率						
	金 額				提出率(%)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	0				(2002年) 0	0
平成13年度	37,590				(2001年) 100	0
平成12年度	37,931				(2000年) 100	0
提出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2001年のもの	
1位	日本		100			
2位						
3位						
4位						
5位						
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
本委員会は1999年3月に設置。同年7月からこれまでに1396名の日露間の交流事業を実施。本委員会の枠組みにおける交流事業は、日露両国の国民レベルの相互理解の促進に大きく貢献している点は前向きに評価されるも、2002年2月より、事業実施のあり方等について問題点を指摘され、同年3月より外務省内にて内部調査を実施。同年7月、川口大臣より、委員会の運営、事業の実施にかかわる問題点を指摘する調査結果を公表した。また、同年11月公表された会計検査院の報告書において、本委員会の運営、事業の実施に関する改善点が指摘された。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
外務省内部調査及び会計検査院により指摘された問題点につき、現在、各種改善策がとられている。本委員会の今後のあり方について、外務省内にて検討中。						
邦人職員数 うち幹部以上	5 人 うち 人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	5 人 100%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称(ランク)		職 員 氏 名		備 考		
事務局長		高野 保夫				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
なし						